

東京オリンピック・パラリンピック

キャンプ地誘致に向けた第一歩！

リトアニアオリンピック委員会が 坂東市を視察

4月8日、リトアニア共和国の国立オリンピック財団ディレクターのヴィタリウス・ヴァシリアウスカス氏、2020年東京オリンピック選手団団長のエイニウス・ペトクス氏が坂東市を訪問し、

と事前キャンプ候補地として、坂東市に好感をもっていたように、今後の進展が期待されます。

総合体育館や陸上競技場、猿島武道館などを視察しました。また、坂東市と災害応援協定を締結している㈱フルハシ商事のご協力により、リトアニアの国技であるバスケットボールのオリンピック会場となるさいたまスーパーアリーナなどをヘリコプターから視察。主会場となる東京からも近いことをアピールしました。両氏は、「施設がたくさんあってすばらしい」「静かです選手が大会前に集中できる」



▲施設での歓迎を受けて



▲トラックの感触を確かめる一団



▲トレーニング機器を試す選手団団長



▲ミュージズなどの文化施設も視察



▲ヘリコプターで空から視察

3月25日、東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地誘致とリトアニア共和国との交流を推進するため、坂東市ホストタウン推進協議会が発足しました。初会合では、市内各種団体の代表者30人が委員に委嘱され、事前キャンプの概要や今後のPR戦略などについて話し合われました。



▲キャンプ地誘致を盛り上げていきましょう

一丸となって
誘致実現を目指す！
坂東市ホストタウン
推進協議会発足